大阪府立大学女性学研究センター主催（大阪府立大学女性研究者支援センター協力）

２０１２年度 第２回女性学講演会開催のお知らせ

マリー・キュリーのキャリアに見る ジェンダーと科学の問題

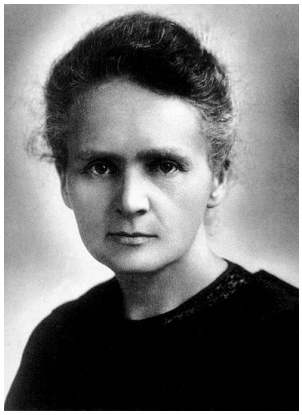
日 時：２０１２年９月２２日（土）
午後１時３０分～午後４時３０分
場 所：大阪府立大学中百舌鳥キャンパス
Ａ１５棟 １０１講義室

１時３０分～３時

講演：川島 慶子（名古屋工業大学准教授）

マリー・キュリー（1867－1934）とは何者なのか。世界初の近代大学博士号取得女性。世界初のノーベル賞受賞女性。そして世界初の二度のノーベル賞受賞「人間」。マリー・キュリーの人生には「世界初」という言葉がつきまとう。いかなる異論の余地もなく、彼女は「科学者」という言葉が誕生して後に、世界的な認知を得た最初の女性科学者である。

なぜ科学者マリー・キュリーは世界中でこんなにも有名なのか。じつはこの名声の裏には、放射能の不思議な性質と共に、ジェンダーや民族にまつわる、文化的、社会的要素が存在している。本講演は、19 世紀末から 20 世紀初頭のヨーロッパで「科学者という専門職につき、自分の力で生計を立てた」一人の女性としてのマリー・キュリーに着目し、科学という彼女の進路選択が、当時の社会においてどのような意味を持っていたのかを明らかにする試みである。



３時１５分～３時４５分

コメントおよび講演者との質疑応答

コメンテーター：柳 日馨（本学大学院理学系研究科教授）

３時４５分～４時３０分：自由討論

コーディネーター：村田 京子（女性学研究センター副センター長）

対象・定員：本学学生・院生・教職員および一般府民 60 名
参 加 費：資料代 ５００円（本学学生・院生・教職員は無料）
申 込 方 法：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を記してＥメールまたはＦＡＸでお申し込みください。
＊お申し込みの際の個人情報は、本講座の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。
申 込 先：大阪府立大学女性学研究センター
Ｅメール：joseigaku@gmail.com FAX：072-254-9947
当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。
問 合 せ 先：大阪府立大学女性学研究センター 〒599-8531 堺市中区学園町 1-1 TEL：072-254-9948
交通アクセス、キャンパス地図は http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu.html をご参照ください。